

1. 科目名 (単位数)	保育内容 (表現) / 表現 (保育児童福祉専修) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1135						
2. 授業担当教員	本野 洋子								
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「こどもと音楽」を履修していること								
7. 講義概要	乳幼児は日常生活や遊びの中で、イメージを自由に膨らませながら豊かな表現を見せてくれる。保育者には、そのような乳幼児一人ひとりのあるがままの姿を捉え、意志のある「表」と無意識のうちに現れる内的変化である「現」をそれぞれ大切に受け止めるための理解力を身につけることが必要である。本講義では、講義と演習を通して、乳幼児における表現の意味を理解し、表現の萌芽に気づき、その表現に対し、適切に対応できる応答力を身につける。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育内容「表現」のねらいと内容について理解し、説明することができる。</li> <li>2. 乳幼児の発達段階による「表現」の違いを理解し、説明することができる。</li> <li>3. 自ら表現することにより、自己発見、自己認識を経て、保育者自身が豊かな表現者となるよう、自己表現力を高める。</li> <li>4. 乳幼児の「表現」を支える保育者の役割について理解し、説明することができる。</li> <li>5. 乳幼児の「表現」を援助するための方法を身につける。</li> </ol>								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容に即して活動の準備</li> <li>2. 授業を振り返り、教科書を参照しながら、授業時間内に筆記試験を行う</li> <li>3. 総合的表現活動に関するレポートおよび課題の提出</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 「こどもと音楽」授業で使用した教科書を継続使用する。 (秋田喜代美・三宅茂夫監修「子どもの姿からはじめる領域・表現」みらい 2021 年 4 月)</p> <p>【参考書】 無藤隆 監修『事例で学ぶ保育内容 領域表現』萌文書林。 佐伯胖/藤田英典/佐藤学 編『シリーズ学びと文化⑤表現者として育つ』東京大学出版会。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 幼稚園教育要領、幼稚園教育要領 (平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育内容「表現」が設定された背景及びねらい、内容について理解することができたか。</li> <li>2. 自ら表現することにより、自己発見、自己認識を経て、自己表現力を高めることができたか。</li> <li>3. 乳幼児の発達段階による「表現」の違いを理解し、説明することができるか。</li> <li>4. 乳幼児の「表現」を支える保育者の役割について理解し、説明することができるか。</li> <li>5. 乳幼児の「表現」を援助するための方法を身につけ、実践することができるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>①授業への取り組み・発表内容</td> <td>総合評価の 40%</td> </tr> <tr> <td>②提出物 (レポートを含む)</td> <td>総合評価の 30%</td> </tr> <tr> <td>③筆記試験</td> <td>総合評価の 30%</td> </tr> </table> <p>①から③までを総合的に評価する。</p>			①授業への取り組み・発表内容	総合評価の 40%	②提出物 (レポートを含む)	総合評価の 30%	③筆記試験	総合評価の 30%
①授業への取り組み・発表内容	総合評価の 40%								
②提出物 (レポートを含む)	総合評価の 30%								
③筆記試験	総合評価の 30%								
12. 受講生へのメッセージ	学習目標が達成できるよう努力しましょう。 幼児理解を深め、未分化な幼児の表現活動を捉え、的確に援助できるようになりましょう。 自らの表現力をみがきましょう。自然の美しさや日々の変化に気づく感受性を育てましょう。 色々な文化的経験を積みましょう。								
13. オフィスアワー	最初の授業時に説明								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション (シラバス説明・授業概要) 表現とは何か。 子どもの歌の特徴と魅力 (歌い感じ考える)	事前学習	教科書第 3 章を予習。						
		事後学習	子どもたちの歌の特徴と魅力についての復習。						
第 2 回	保育内容「表現」のねらいと内容、子どもの発達と表現の捉え方、その評価方法について学ぶ。	事前学習	教科書第 1 章、第 2 章を予習。						
		事後学習	「表現」のねらいと内容の復習。						
第 3 回	五感を研ぎ澄まし表現する身体の準備。季節を感じて伝える (絵、写真、実物を見て語る)	事前学習	教科書第 5 章を予習。						
		事後学習	どのように季節を感じるかについての復習。						
第 4 回	保育園での保育の DVD を見て子どもの表現活動について学ぶ	事前学習	教科書第 3 章を予習。						
		事後学習	子供の表現活動についての振り返り。						
第 5 回	保育における集団の表現活動と個の尊重について学ぶ	事前学習	教科書第 4 章を予習。						
		事後学習	集団の表現活動と個の尊重についての復習。						
第 6 回	素材との出会い① (素材～水、紙、石、ひも、葉等を使っての色、形の表現探索)	事前学習	教科書第 8 章を予習。						
		事後学習	さまざまな素材を再認識し、活動を振り返る。						
第 7 回	素材との出会い② (身の回りにあるプラスチックの容器やストロー、針金、紙コップなどを使って音の出る楽器を作る)	事前学習	活動の準備。教科書第 7 章の予習。						
		事後学習	どのような素材が楽器になるか、また製作活動を振り返る。						
第 8 回	表現のコアとなる体験の振り返り、他領域との関連、情報機器の併用及び教材としての可能性を考える。	事前学習	発表の準備。教科書第 1 章第 3 節、第 4 節を予習。						
		事後学習	体験の振り返りのまとめ						
第 9 回	身体遊びと音楽 (手遊び、わらべうた遊び等) 子どもの歌を歌い感じ考える	事前学習	手遊び、わらべうたを調べてくる。						
		事後学習	子どもの表現活動についての復習。						
第 10 回	指導案の作成について	事前学習	筆記試験・指導案作成の準備。教科書を予習。						
		事後学習	筆記試験の振り返り。						

第11回	「総合的な表現活動」の指導案に基づいた活動①	事前学習	指導案の準備
		事後学習	指導案作成の復習。
第12回	「総合的な表現活動」の指導案に基づいた活動②	事前学習	活動するために使用する材料の準備
		事後学習	指導案に基づいた活動の振り返り①。
第13回	「総合的な表現活動」の指導案による模擬保育(グループ別)①	事前学習	指導案の修正 活動のために使用する材料の準備。
		事後学習	指導案に基づいた活動の振り返り②。
第14回	「総合的な表現活動」の指導案による模擬保育(グループ別)②	事前学習	活動のために使用する材料の準備
		事後学習	指導案に基づいた活動の振り返り③。
第15回	模擬保育の振り返りと分析から改善点を見つける まとめ(保育内容「表現」における今後の課題)	事前学習	活動のために使用する材料の準備
		事後学習	15回の授業で学んだことのまとめ。